

FS 調査結果及び基本情報の整理表

各内容について、把握している範囲で記載してください。木質バイオマスエネルギー利用施設に関する内容は、新規導入・水平展開・運用改善のうち該当する区分の表に記載してください。

【燃料用材供給・燃料製造】

項目		内容	
燃料用材供給①	事業者名		●●林業（林業事業体）
	樹種		スギ、支障木
	供給可能量		50 m³/年（スギ）、100t/年（支障木）
	販売価格		5,000 円/m³（スギ）、1,000 円/t（支障木）
燃料用材供給②	事業者名		●●森林組合
	樹種		スギ
	供給可能量		100 m³/年
	販売価格		5,500 円/m³
燃料製造①	事業者名		●●林業（薪製造）
	燃料製造設備		既存・新設
	製造量		400t/年
	原料		スギ、ヒノキ
	用途		ボイラー用薪、ストーブ用薪
	供給可能量		50t/年（ボイラー用薪）
	燃料	燃料種	薪
		水分(wb)	25～30%
		流通価格（実績）	30 円/kg（ボイラー用）、50 円/kg（ストーブ用）
		販売想定価格	30 円/kg（ボイラー用）
	供給方法	運搬	軽トラック
供給経路		片道約 5 km、往復約 30 分	
燃料製造②	事業者名		▲▲製材所（チップ製造）
	燃料製造設備		既存・新規
	製造量		15,000t/年
	原料		スギ C・D 材
	用途		ボイラー用チップ
	供給可能量		200t/年
	燃料	燃料種	切削チップ
		水分(wb)	35～45%
		流通価格（実績）	20 円/kg
		販売想定価格	15 円/kg
	供給方法	運搬	4 t ダンプ車
供給経路		片道約 10 km、往復約 45 分	

新規導入・水平展開・運用改善のうち該当する区分の表に記載してください。
※ 記載例では全区分の表に記載しています。

【新規導入：木質バイオマスエネルギー利用施設情報】

項目		内容			
エネルギー利用施設【新規導入】 ①	施設名		■▲福祉施設（社会福祉法人□□）		
	施設区分		特別養護老人ホーム		
	年間利用客		50 人	利用用途	給湯、暖房
	化石燃料使用量（実績）		130,000L（灯油）		
	導入 機器	機器名		○△社製薪ボイラー	
		規模		150kW	
		木質燃料使用量（計画値）		300t/年（ボイラー用薪、水分(wb)30%程度）	
		販売代理店		●●エナジー	
		施工事業者		▲▲建設株式会社	
		管理事業者		●■エナジー株式会社	
		メンテナンス事業者		株式会社■▲エンジニアリング	
	導入 費用	総工費		3,000 万円（概算）	
		設備・機器		1,200 万円	
建築費用		1,800 万円			
ランニングコスト		800 万円/年	投資回収年数	8 年	
燃料買取価格		1500 円/m³（1m 薪、水分(wb)35%程度）			
導入支援策（補助事業等）		▲■補助金（ボイラー機器、3 分の 2 補助）			
エネルギー利用施設【新規導入】 ②	施設名		▲■温泉（株式会社□□）		
	施設区分		日帰り温浴施設		
	年間利用客		約 80,000 人	利用用途	給湯
	化石燃料使用量（実績）		90,000L（灯油）		
	導入 機器	機器名		○△社製チップボイラー	
		規模		200kW、蓄熱タンク約 6,000L	
		木質燃料使用量（計画値）		200t/年（チップ水分(wb)35～45%程度）	
		販売代理店		●●エナジー	
		施工事業者		▲▲建設株式会社	
		管理事業者		●■エナジー株式会社	
		メンテナンス事業者		株式会社■▲エンジニアリング	
	導入 費用	総工費		5,000 万円（概算）	
		設備・機器		2,000 万円	
		建築費用		3,000 万円（建屋：1,000 万円、サイロ：2,000 万円）	
	ランニングコスト		500 万円/年	投資回収年数	10 年
	燃料買取価格		15 円/kg（水分(wb)35～45%程度）		
	導入支援策（補助事業等）		▲■補助金（ボイラー機器、3 分の 2 補助）		

【水平展開：木質バイオマスエネルギー利用施設情報】

項目	内容				
エネルギー利用施設【水平展開】①	施設名		■▲福祉施設（社会福祉法人□□）		
	施設区分		特別養護老人ホーム		
	年間利用客		50 人	利用用途	給湯、暖房
	化石燃料使用量（実績）		130,000L（灯油）		
	導入機器	機器名	○△社製薪ボイラー		
		規模	150kW		
		木質燃料使用量（計画値）	300t/年（ボイラー用薪、水分(wb)30%程度）		
		販売代理店	●●エナジー		
		施工事業者	▲▲建設株式会社		
		管理事業者	●■エナジー株式会社		
		メンテナンス事業者	株式会社■▲エンジニアリング		
	導入費用	総工費	3,000 万円（概算）		
		設備・機器	1,200 万円		
建築費用		1,800 万円			
ランニングコスト		800 万円/年	投資回収年数	8 年	
燃料買取価格		1500 円/m³（1m 薪、水分(wb)35%程度）			
導入支援策（補助事業等）		▲■補助金（ボイラー機器、3 分の 2 補助）			
エネルギー利用施設【水平展開】②	施設名		▲■温泉（株式会社□□）		
	施設区分		日帰り温浴施設		
	年間利用客		約 80,000 人	利用用途	給湯
	化石燃料使用量（実績）		90,000L（灯油）		
	導入機器	機器名	○△社製チップボイラー		
		規模	200kW、蓄熱タンク約 6,000L		
		木質燃料使用量（計画値）	200t/年（チップ水分(wb)35～45%程度）		
		販売代理店	●●エナジー		
		施工事業者	▲▲建設株式会社		
		管理事業者	●■エナジー株式会社		
		メンテナンス事業者	株式会社■▲エンジニアリング		
	導入費用	総工費	5,000 万円（概算）		
		設備・機器	2,000 万円		
建築費用		3,000 万円（建屋：1,000 万円、サイロ：2,000 万円）			
ランニングコスト		500 万円/年	投資回収年数	10 年	
燃料買取価格		15 円/kg（水分(wb)35～45%程度）			
導入支援策（補助事業等）		▲■補助金（ボイラー機器、3 分の 2 補助）			

【運用改善：木質バイオマスエネルギー利用施設情報】

項目	内容				
エネルギー利用施設【運用改善】①	施設名		■▲福祉施設（社会福祉法人□□）		
	施設区分		特別養護老人ホーム		
	年間利用客		50 人	利用用途	給湯、暖房
	木質燃料使用量（実績）		300t/年（ボイラー用薪、水分(wb)30%程度）		
	導入機器	機器名		○△社製薪ボイラー	
		規模		150kW	
		販売代理店		●●エナジー	
		施工事業者		▲▲建設株式会社	
		管理事業者		●■エナジー株式会社	
		メンテナンス事業者		株式会社■▲エンジニアリング	
	導入費用	総工費		3,000 万円	
		設備・機器		1,200 万円	
建築費用		1,800 万円			
ランニングコスト		800 万円/年	投資回収年数	8 年	
燃料買取価格		1500 円/m³（1m 薪、水分(wb)35%程度）			
導入支援策（補助事業等）		○年度▲■補助金を使用（ボイラー機器、3 分の 2 補助）			
エネルギー利用施設【運用改善】②	施設名		▲■温泉（株式会社□□）		
	施設区分		日帰り温浴施設		
	年間利用客		約 80,000 人	利用用途	給湯
	木質燃料使用量（実績）		200t/年（チップ水分(wb)35～45%程度）		
	導入機器	機器名		○△社製チップボイラー	
		規模		200kW、蓄熱タンク約 6,000L	
		販売代理店		●●エナジー	
		施工事業者		▲▲建設株式会社	
		管理事業者		●■エナジー株式会社	
		メンテナンス事業者		株式会社■▲エンジニアリング	
	導入費用	総工費		5,000 万円	
		設備・機器		2,000 万円	
		建築費用		3,000 万円（建屋：1,000 万円、サイロ：2,000 万円）	
	ランニングコスト		500 万円/年	投資回収年数	10 年
燃料買取価格		15 円/kg（水分(wb)35～45%程度）			
導入支援策（補助事業等）		○年度▲■補助金を使用（ボイラー機器、3 分の 2 補助）			

その他、地域に既存の木質バイオマスボイラー（本事業での検討対象外）がある場合、可能な範囲で記載してください。導入先が複数ある場合は、適宜追加してください。

項目	内容			
エネルギー利用施設①	施設名	道の駅●▲		
	施設区分	道の駅		
	年間利用客	50,000 人	利用用途	給湯、足湯
	木質燃料使用量（実績）	100t/年（チップ水分(wb)30%程度）		
	導入 機器	機器名	▲●社製チップボイラー	
		規模	50kW、蓄熱タンク 1,500L	
		販売代理店	▲▲エナジー	
		施工事業者	●●建設株式会社	
		管理事業者	株式会社■●エナジー	
		メンテナンス事業者	株式会社■●エナジー	
	導入 費用	総工費	1,500 円	
		設備・機器	700 万円	
		建築費用	800 万円	
	ランニングコスト	300 万円/年	投資回収年数	8 年
	燃料買取価格	20 円/kg（チップ水分(wb)30%程度）		
	導入支援策（補助事業等）	○年度■●補助金を使用（ボイラー機器、3 分の 2 補助）		